

Title	第五十一巻自第一号至第六号総目次：昭和三十三年上半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1958
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.6 (1958. 6) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580601-0097

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十一卷 自第一号 至第六号 総目次 (昭和三十三年上半期)

論 說

	号	頁	通頁
日本経済の基盤……………	一	一	一
予算統制の成立要件……………	一	二三	二三
小売商業における競争の側面……………	一	四二	四二
資本利子と統一原価計算制度——資本利子の会計学的研究——	一	六二	六二
棚卸資産評価論の一研究——標準原価をめぐって——	一	七八	七八
社会保障と社会階層の理論……………	二	一	九七
農民層分解に関する一考察——水田二毛作地帯における下向分解II 農家兼業化について	二	一六	一一二
古典学派の崩壊と「賃労働」分析の転換——リカード学派——	二	四二	一三八
W・トムソンの分配論——資本主義批判史の展開によせて——	二	六三	一五九
世界経済体制の再調整期……………	三	一	一九五
政策決定プロセスの一考察……………	三	一七	二一一
沿岸漁業の構造——「漁民層不透明分解」の根拠について——	三	二六	二三〇

独占と集中——政策論的考察	原 豊	三	四一	二三五
現代日本の国家支出の構造分析——財政資金の処分と国家給付の諸形態について	高木 寿一	四	一	二八五
十九世紀後半におけるイギリス資本主義——労働組合運動における変貌と労働組合運動の変転(その一)	飯田 鼎	四	一八	三〇二
西アフリカ・マーケットイング・ボードの安定政策と基金	矢内原 勝	四	三五	三一九
租税の効率性に関する覚書——所得税と消費税の厚生効果再論	古田 精司	四	五四	三三八
本多利明の農政論——その前提	島崎 隆夫	五	一	三七三
アメリカ産業革命の歴史的特質——商業資本転化の歴史的意義をめぐって	中村 勝己	五	一三	三八五
集積・集中と独占	北原 勇	五	三〇	四〇二
メンガーの「Bedarfs の理論」について	持丸 悦朗	五	四七	四一九
ソ連の計画経済における均衡	気賀 健三	六	一	四六一
ドイツ農民戦争の歴史的意義(下の二)	寺尾 誠	六	一四	四七四
現代経済機構における労働組合——生産構造と費用配分率	佐野 陽子	六	四六	五〇六

資 料

マーケットイング・リサーチの現状	佐藤 保	二	七九	一七五
紀州北山地方の検地帳	速水 融	三	五二	二四六
ケネー経済表範式の疑義に就て——坂田太郎教授の『ケネー経済表』——「訳者解説」を中心として	渡邊 建	三	六六	二六〇
再販売価格維持制度の経済的側面	片岡 一郎	四	六九	三五三

中華人民共和国土地改革法と「富農経済」保存政策	平野 絢子	五	六二	四三四
ドイツ三月革命における労働者階級の役割 ——カール・オーベルマン「一八四八年の革命におけるドイツ労働者」を読んで	飯田 鼎	六	五九	五一九
J・L・シュミットの恐慌理論——戦後景気循環の体系的研究の一齣	常盤 政治	六	七五	五三五

書評及び紹介

A・L・モートン共著『イギリス労働運動史』	飯田 鼎	二	八九	一八五
ジョージ・テート著『企業金融の手段としての売掛金金融』	片岡 一郎	三	八二	二七六
C・W・フェルプス著『企業金融の手段としての売掛金金融』	片岡 一郎	三	八二	二七六
ジャン・マルシャル著『人間観、世界観一般としてのマルクス主義』	白井 厚	三	八五	二七九
パウル・ホニスハイム著『ゲオルク・イエリネクとマックス・ウェーバー』 ——イエリネク生誕百年記念のために	石坂 巖	四	七九	三六三
岩波講座 現代思想 別巻『歴史・人間・思想』	寺尾 誠	四	八一	三六五
山崎功著『イタリア社会運動史』	飯田 鼎	五	七八	四五〇
関山直太郎著『近世日本の人口構造』	速水 融	五	八二	四五四
エドワード・ネヴィン著『国家債務の問題』	古田 精司	六	九〇	五五〇

経済学年報 1

近世初期の家数人教改と役家について.....	連水 融
いわゆる「十九世紀末農業恐慌」の性格について.....	常盤 政治
西アフリカ・マーケティング・ボイド下のコア買付機構の研究.....	矢内原 勝
巨大株式会社企業管理・利害者集団の分析.....	野口 祐